

ひろば 大代

No.498

令和3年1月号

大田市の人口	
(R3.1.1現在)	
大田市	33,800人
内大代町	329人
男	148人
女	181人

謹賀新年



本年もよろしく
お願いいたします

大代まちづくりセンター



年頭の挨拶

大代まちづくりセンター長
大代高山会会長
佐藤哲朗

明けましておめでとうございます。皆様には家族お揃いで静かな新春をお迎えのことと存じます。一年間まちづくりセンター・大代高山会の事業に対してご支援ご協力いただき有難うございました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策により、世界中が不安と混乱の一年となりました。東京オリンピック延期をはじめとし、大田市に於いても全国植樹祭が一年延期、当大代町でも「都市交流会」「敬老会」「運動会」「文化祭」など、7月までは全ての行事が中止となりました。8月からまちづくりセンターの使用も新型コロナウイルス感染症対策を最優先し条件付きで利用可能となり「えびすの会」や「福祉弁当」の再開、「災害食作り」「ハロウィンパーティー」「クリスマス会」「しめ縄作り」など行いました。

今年は新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの実用化が期待され

るなど明るい話題もあります。新型コロナウイルス感染症が収まり良い年になるよう祈りたいものですが、国内の新規感染者は拡大にあり終息の目途が立っていません。

私たちに出来ること「マスク着用」「手洗い励行」「3密(密閉・密集・密接)回避」を守りこの一年を乗り切りましょう。

令和3年を迎えて

大代町連合自治会長 山根義雄

新年明けましておめでとうございます。さて、昨年を振り返ってみますとコロナでほとんどの行事や催し物が出来ておらず、みな延期や中止になってしまったのが残念でなりません。

一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、今まで通りに行事が開催されますよう願っています。

また、地震や自然災害も起きていますが、何事もなく平穏な日々が過ごせ



ますように。

今年も変わらず突き進んでいきたいと思えます。みなさんのご協力での一年もがんばりたいと思えますのでよろしくお願いいたします。



Ⅱ「新型コロナウイルス」の脅威Ⅱ

東京石見高山会会長 市原幸文

大代の皆様、関西高山会、東京石見高山会の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで清々しい穏やかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年から本年まで、新型コロナウイルス感染症対策のために、大代でも主な行事が中止になり意気消沈された方も多いと思えます。

報道でご存知の通り、関東地区の感染者数は増加するばかりです。東京は12月31日について1300人を超え、神奈川、埼玉、千葉も連日最多人数更新となり、その勢いは留まるどころを知らません。医療崩壊の一手手前まで

来ています。

昨年は墓参りも出来ず、悔しい思いでした。さらに年末年始は完全にお籠りをしなければならなくなり、1月7日には第2回目の緊急事態宣言の発出となりました。

実は今回を予測した内容のアメリカ映画が嘗て制作されています。題名は「コンテイジョン（接触感染）」これはVOD（ビデオ・オン・デマンド）で見ることができません。

大代の皆様に置かれましては、このような困難な中でも、連合自治会による旧大代小学校周辺の草刈、さらにまちづくりセンターでは「ハロウィン」や「クリスマス」のパーティー開催や「しめ縄作り」など、そしてえびすの会協議会による高齢者の通いの場の運営、婦人会による慰霊碑の草刈りなどの広範な活動の記事を「ひろば大代」で読ませて頂くにつけ、皆様の絆の強さに感動し、頭が下がります。一日も早い新型コロナウイルスの収束を望みたいと思えます。



新年の挨拶

関西高山会会長 坂井晋

大代町の皆さん、関西高山会および東京石見高山会の皆さん

明けましておめでとございます。本年もよろしく願いいたします。昨年はコロナ、コロナで大変な一年でした。総会、新年会も中止せざるを得なくなってしまうました。ワクチン接種が手軽にできるまでしばらくは辛抱の日々でしょう。

大代中学校卒業後、60年が過ぎました。「光陰矢の如し」という諺がありますがまさにその通りです。

今、やんちゃしていた子供の頃のお正月を思い出しています。まずは大晦日の餅つき。父が搗いて母が丸めた餅を何個か食べ、夜を待って除夜の鐘つきに行きます。たしか浄土寺だったように思います。定かではありません。雑煮とおせちはしめ鯖の入った酢の物、豆腐をつぶした白和え、数の子は当時安かったのでしょうか。たくさんありました。それと赤貝のおすまし。子供

にとってあまり美味しいものとは言えないものでした。年末に届いた母の里からの干し柿を内緒でたくさん食べ、怒られた事もいい思い出です。遊びはコマ回し、カルタ、凧揚げといったようなところですか。現在と違い質素なお正月でしたが、楽しい楽しいお正月でした。

新年の挨拶

農業委員 武田廣司



新年あけまして、おめでとうござい
ます。

ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことと、お喜び申し上げます。昨年各地で発生した豪雨災害、夏の猛暑などありましたが、幸いわが地域では大きな災害もなく、農業生産にとっては比較的安定した年であったように思います。

近年の農業を取り巻く状況を振り返ってみますと、農業従事者の高齢化による離農、次代の農業就農者がいない、

鳥獣害、米価の低迷等、結果として耕作放棄地の拡大につながっているのが現実です。

農業委員会では年に一度、農地利用状況調査を実施していますが、地目は水田で有りながら現状は林野化した農地を多く見かけます。

このような状況を解消する一助として最近、人・農地プランについて議論されますが、人・農地プランとは地域が抱える人と農地の問題を計画的に解決する手法です。具体的には個人で管理できなくなった農地は地域で話し合い、経営規模の拡大など意欲のある後継者に積極的に託す制度です。

農地を有効利用するため農業委員は農地利用の集積化、遊休農地の発生防止など役割を求められています。過疎地では十分な活動が出来ないのが現状です。

しかし農業は低収益、重労働に加えて気象条件など負の要因が多くあります。まして新型コロナウイルス感染症騒ぎの世の中、人間が生きるための食料供給に携わる使命感と安定感をなお一層感じさせられています。

農地法の原点は人間が生きるために大切な食料供給にあります。農地は自分の農地でありながら多くの制約があります。

今年も農業委員としてさまざまな助言を頂きながら地域農業の活性化のため尽力したいと思います。

本年が皆様にとって、幸多い年でありますことを願い新年の挨拶と致します。

新年を迎えて

大代体育協会会長 武田穰



新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご厚情をいただきありがとうございます。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますとコロナで始まりコロナで終わった年でもあり

ました。当初の私は「どうせ都会の出来事」と我関せずでありましたが、昨年の一番の関心事となっており、

本年の一番のイベント「町民運動会」を、安全対策を講じながら開催できるよう役員一同全力で考えてまいります。

最後になりますが、本年の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



明けましておめでとうございませう

大代婦人会会長 佐藤京子

新年明けましておめでとうございませう。皆様方には年末年始をいかがお過ごしでしたでしょうか。昨年は新型コロナウイルスにより大代婦人会も婦人会手作りの福祉弁当、都会から帰って来られた方のなつかしい顔顔の夏の都市交流、皆さん楽しみにしておられた敬老会、大代一大イベントの文化祭でのあの美味しいうどん、かしわ飯も食することが出来ずに一年が終わりました。人生始まって以来の経験した

ことのない一年でした。一年ぐらいで収束するのではと昨年の春は楽観しておりましたが昨年より今年の一年もウイルスに気をつけて過ごしていく事が大事と思えました。まず私達みんなの健康が第一。色々な所に出かけたい、色々な人に会いたい、今まで普通の事が大切な事だと気づかされました。婦人会活動が再開出来る事、東京石見高山会、関西高山会の皆様にお会い出来る事を念じまして本年の皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



年頭にあたって

大代地区社会福祉協議会会長

高村清

新年明けましておめでとうございませう。

大代町の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。日頃は、大代地区社会福祉協議会の事業に関しまして、暖かいご支援とご協力を賜り厚く御礼

申し上げます。

昨年は、私たちが経験したことのない、「新型コロナウイルス感染症」と称される病気が発症、台頭、現在に至り、全世界を混乱させ、島根県にも影響を及ぼしています。私たちの生活も、マスクの着用・外出の制限及び人と人のふれあいの自粛・密を避けることが求められるなど、一変せざるを得ない日常となってきました。さらに、年末年始の過ごし方まで影響を受け、親子孫兄弟姉妹が揃っての正月ができなく、また、年明けとともに、人口密度の高い都道府県を主としての緊急事態宣言の発出がなされる事態となりました。一日も早くこの宣言の成果が表れ、終息に向かうことを切に願うばかりです。併せて皆様方各位が、感染症対策はもとより、健康に十分気を付けられ、健康第一を目的とした生活を送られることを願います。

このような状況での生活のなか、昨年度は、地区社協の行事として敬老会をはじめ計画していた各活動をどのように運営すべきか苦慮すべき状態に追い込まれ、委員各位と協議し、随時、

他地区の活動状況も参考にしながら、敬老会についてはやむを得ないとの判断のもと開催の中止を決断させて頂きました。一方、可能な活動は、形式は変わりますが行える範囲で実施するようになっています。

この病気の終焉は現段階では見通せず、今後、各活動について、行政側の指導の可能性も視野に、他地区の状況等の情報を得て、各委員と打ち合わせをし、人口減少の続く大代地区にあって、可能な範囲でどのようなことができるかを模索しながら創意工夫を凝らして、住民同士のつながりが途切れることなく、安心して暮らせる一助になるべき活動を行いたく思います。

今年は、丑年で、我慢（牛は、古くから農業・酪農で人間を助けてくれ、最後まで大変な農作業を手伝ってくれる働きぶり）・そしてこれから発展する前触れの歳と言われています。したがって、本年は、所謂、基礎固めの年のように思えます。

このような状況下での大代町での生活を快適な状況にするには、地区社協としてどのような施策を行えば可能と

なるのか、基礎固めも視野に置きながら、より一層皆様のお知恵を拝借し、ご協力を得ながら事業を展開していきたく思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年を迎えて

大代消防団部長 下吉幸典



皆様には、輝かしき新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より消防団活動に対しましてご理解ご協力ありがとうございます。

昨年、本郷の横直人さんに入団していただきました。今後の活躍を期待しております。

今年には新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、毎年行われていた大田市消防団出初式が中止になりました。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し良い年になりますように。

幸い大代では火災もなく1年間を過ごすことができました。これも町民の

皆さんのお陰だと思えます。これからも、自然災害など何が起きるかわかりません。災害が起きたときは、慌てずに早めの避難を心がけましょう。

今年も、火災・災害の無い大代町でありますように、町民の皆さんの御協力をお願い致します。

本年が皆様にとって、幸多い年でありますことを願い、新年のあいさつと致します。

新年の挨拶

大代駐在所 花本拓



新年あけましておめでとうございませす。

さて、世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めてから1年になり、人々の生活様式も大きく変化しました。

そんな中、本年5月には、三瓶山において天皇皇后両陛下の御臨場を仰ぐ全国植樹祭の開催が予定されていたり、今夏には東京オリンピック・パラリン

ピック競技大会が開催されるなど、例年とは違うコロナ禍の中での大規模警備が予定されており、我々も全国の警察が一丸となって警備を完遂しなければという思いであります。

AIやビッグデータが喧伝されて久しいですが、これらが代替し得ないのは人間の「独創性」です。

昨年、文化勲章を受章された島根県吉賀町出身の彫刻家澄川喜一先生は、受章時のインタビューにおいて大学入学時に「ひとのまねをしてはいけない」と教えられたことに感謝していると仰っていました。彫刻デザインは、創造性の最たるものですが、島根県の有する自然、歴史及び文化が先生のオリジナリティの根底に影響を与えていると思います。

私自身も、新たな年の始まりにあたり、安易な前例踏襲ではなく、創造力を発揮して自分らしい付加価値を付けて仕事を推進することを意識していると思います。

県民の安全安心を守る日々の仕事の中に、これまでの経験や知識を礎に自分らしさを付加することを意識してい

くことが、やりがいや充実感につながり、そうした努力の積み重ねにより、日本一治安の良い「しまね」に近づけるのではないかと考えています。大代町の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

丑年生まれ 今年の抱負



八十路に思ふこと

下市 今田文子

新年おめでとうございます。今年はず支の丑年で年頭に当たって抱負を、と原稿用紙が届きました。

定年退職後80歳をすぎると足腰が弱り家族や近所の方々にお世話になることが多くなります。3人の男の子と孫8人おりますが松江や岸和田で生活しています。従来からの農業で小規模の家族で農繁期には子供らが手伝いに帰省してくれてやっと終えることが出来る状況です。健康維持に病院に通い

ながら日々過ごしております。少しは若い時もありましたが、もうどうしても一人前に戻ることは出来ず八十路を登ります。どうぞよろしく見守ってください。お願い致します。

「気分をきく」

下市出身 森義博



明けましておめでとうございます。今年の抱負について私なりの思いを書いてみようと思います。

昨年、我が家の一番下で保育園の息子が「気分をきいて♪気分をきいて♪」と歌っていました。気分をきいて♪という事？息子に聞いてみても「テレビで歌ってたよ」とのこと。んん待てよ、自分の気分をきいてみる、と言うことなのか？

では自分の気分をきいてみるとは何か？たとえば朝起きてコーヒーか紅茶どちらを飲むか迷った時、自分の気分が良い方を選ぶ、そして飲んだ後に当然気分がいい。幸せな気分になる。と

でも小さな幸せですがこの一年、自分の気分にかけて選択し行動してみようと思います。皆さんも自分の『気分にかけて』行動してみてもいいでしょうか。

今年も皆様にとって良い年であります様に祈り致します。

ふるさと

下谷出身

笹田茉那



新年あけましておめでとうございませす。2020年は新型コロナウイルス感染症により今まで穏やかに過ごしていた日々が一変したと思います。いつ感染するか分からない恐怖に負けずに感染予防をしっかり行っていきましよう。

私にとって2020年はワクワクとドキドキが沢山あった一年でした。かけがえのない仲間に出会い学ぶことができました。2021年は別の場所です新しいスタートがえられるように精一杯頑張っていきたいと思ひます。年女と

いうことなので今まで挑戦したことのないような事も積極的に挑戦していきましょうと思います。いつの日か島根に帰ってこられるよう人生の経験が沢山積んでいきたいと思います。簡単ではありませんが、今年も何卒宜しくお願いします。



大代町自主防災会から

お知らせ

★除雪機をご利用ください

雪の季節となりました。町内どなたでも利用できます。ぜひ活用してください。



【使用方法】

・各自治会長等に依頼、またはご本人がまちセンで手続きを行う。

【使用料金】

・1時間まで2千円。(機械使用料1300円、手間代700円) 実働時間が1

時間を超える場合は30分単位1千円。

※依頼せずご自分で使用された場合、手間代(料金の35%で1時間の場合700円)を引いた額をお支払いください。
・領収証はまちセンにあります。

★除雪機保管場所が変わりました

今まで除雪機を旧大代小学校に保管していましたが、この度、大代まちセン駐車場の軒下に保管場所を変更しました。



★除雪機使用簿と鍵について

どちらもまちセン玄関内、カウンタ横に保管してあります。

★保険について

除雪機使用中の事故やけがについては保険がありませんので、自治会保険で対応してください。

*事故・けがの無いよう十分お気を付けてください!

※除雪機に関してご不明な点は、大代まちセンまでお問い合わせください。

俳句

あすなる句会

椿 花田時子

我が里は一晚にして銀世界
久し振り揃ふ笑顔の小正月

下市 今田文子

ウイルスは見へねど怖し凍きびし
八十路尚笑顔で集ひ味噌作り

川上 岩田律枝

コロナ禍や一人で迎ふお正月
平穏を願ひ七草粥を炊く

上市 横田美恵子

凍る夜カイロの暖で眠る猫
せがまれて作る日暮れの雪だるま

椿 柿丸寿枝

うつむけば更に寡黙や雪籠
居る人が居らねば淋し今朝の春



大代地区社協よりお知らせ

八反田 林正彦様から

香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚くお礼申しあげます。

まちセンから

★500号(3月号)の原稿大募集!

「ひろば大代」の前身、「つどい」第1号が発行されてから50年。この3月でいよいよ50号となります。

近況や大代町の思い出など、500〜600字程度にまとめていただき、3月1日までに大代まちセンまでお願いします。

この節目となる記念誌に、ぜひ皆様のご寄稿お待ちしております!

★書き初め展開催中!

今月31日(日)まで大代まちセン集会所にて開催中です。ぜひお越しください!



▼5日(金) 出張申告相談

受付…9時半〜11時、13時〜14時
会場…大代まちセン 集会室

▼23日(火) 連合自治会

▼28日(日) 高山地区フロアカーリング交流会 9時〜 大田三中体育館

▼4日・18日・25日(木)

えびすの会 13時半〜15時半

※行事は延期・中止になる場合があります。